

## 哲学カフェが開催されました

現代の社会では、テクノロジーの飛躍的な発展や急速なグローバル化などが見られ、これまでの常識や考え方の有効性が失われてしまっています。こうした中、高校1年生では「哲学」を総合学習の中に取り入れ、「哲学」という知のモデルを使って現代社会を考えていく機会を提供しています。

この取り組みの一環として、6月15日（土）の放課後に「哲学カフェ」が開催されました。高校1年生の有志が集まり、「答えのない問い」について対話をしながら考えを深めていきました。

この日はアイスブレイクとして、「かわいい」「うつくしい」「きれい」はどう違うのか、という問いを考えることから始まりました。生徒たちからは「かわいいは庇護欲から生まれるのではないか」「うつくしいには影や闇の要素が含まれるのではないか」など、様々な意見が出てきました。

その後、この日の本題である「女性らしさとは何か」という問いを考えました。「女性らしさとは男性の視点から生み出されるものではないか」「中性的になれば良い訳ではなく、女性らしさというのも大切ではないか」「女性らしさを仕事などで強制したりするのはいけないのではないか」といった意見が見られました。

今後も様々なテーマで自分自身の考えを深める機会を提供し、激動の現代社会を生き抜く力を育てていきたいと思っています。

